

町内小中学校から善意届く

これまでの支援に恩返しを

8月19日、町内小中学校からの義援金が山田町教育委員会に寄託されました。

これは、九州を中心に発生した「令和2年7月豪雨災害」を受け、東日本大震災などで頂いた支援の恩返しをしたいと児童会、生徒会の発案により行われたもので、各校からの募金総額は19万3787円になりました。当日は、各校代表の新家真生さん(豊間根小6年)、福士怜君

(山田小6年)、金澤春音君(船越小6年)、橋田隆雅君(山田中3年)が教育長室を訪問し、佐々木茂人教育長に義援金を手渡ししました。これに対し佐々木教育長から「皆さんの『応援している』という気持ちが被災地の人たちを元気づけると思います」と感謝が伝えられました。

今回の募金は、町長寿福祉課から日本赤十字社を通じて被災された方々に送られます。



左から橋田隆雅君、福士怜君、佐々木教育長、金澤春音君、新家真生さん

閉校した学校の思い出を1冊に 閉校記念誌を販売しています

町では、令和2年3月をもって閉校した荒川小、大沢小、山田北小、山田南小、織

笠小、轟木小、大浦小、豊間根中の閉校記念誌を販売しています。



この記念誌は、各閉校記念事業実行委員会が作成した原稿を1冊にまとめたものです。申込順で650冊限定で販売していますので、購入を希望する人は、申し込みください。

◎購入の流れ

①町学校教育課に備え付けの

申込用紙に必要事項を記入の上、提出する。

※申込用紙は、町ホームページからもダウンロードできます。

②振込用紙が届いたら、金融機関で購入代金を振り込む。

▽購入代金 1冊2500円
(税込・送料込)

※記念誌の発送は、振り込みから1週間前後で行います。

※役場窓口での支払いはできません。

◆申込先・問い合わせ 町学校教育課総務係(☎82-3111内線312)へどうぞ。

鯨峰爽やかに

この号が出る頃には子どもたちは夏休みも終わり学校に元気に登校しているでしょう。夏休みといえば、近所の船着き場が泳げる場所になっていてそこへ通ったものです▼ある時、中学生か高校生くらいの人に両手両足を捕まえられて深い方に落とされたことがあります。まだ泳げない頃で、無我夢中でもがきながら何とか岸壁にたどり着いたことが記憶に残っています。

プールのなかった時代の厳しい水泳指導法というかいたずらというか、私以外にも経験した方はおられたと思います。今思うと、落とした方は溺れるということを考えなかつたのでしょうか。岸壁からそんなに離れていなかったとはいえ、溺れている人を助けるのはとても難しいことなのですから▼今はプールで先生方がやさしく教えています。私はといえば、おかげさまでその後深い方でも泳げるようになった気がします。

教育長 佐々木 茂人